

マレーバクの「タケコ」が死亡しました



元気なころの「タケコ」

よこはま動物園で飼育していたマレーバクの「タケコ」が死亡しましたので、お知らせします。

○マレーバク「タケコ」

- (1) 性 別 メス
- (2) 出 生 日 平成 10 年頃 (推定 20 歳)
- (3) 死 亡 日 時 平成 30 年 12 月 22 日 (土) 午前 7 時 15 分死亡確認
- (4) 死 因 盲腸便秘・腎不全
- (5) 経 過 12 月 17 日から食欲が落ち、治療を行っていましたが、徐々に衰弱が進み死亡しました。

● タケコのプロフィール

タケコは、平成 11 年 4 月 15 日にインドネシアのスラバヤ動物園から来園しました。当初は横浜市繁殖センターで繁殖に取り組んでいましたが、その後よこはま動物園で飼育中のカイク（オス・18 歳）との繁殖のために平成 29 年 7 月 18 日によこはま動物園にやってきました。

カイクとの相性も良く、一緒にプールに入ったり、餌を食べたりする姿がよく見られました。また交尾も数回確認されましたが、繁殖には至りませんでした。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 渡辺 武志 Tel 045-959-1298

【参考資料】

マレーバクについて

和名	マレーバク
英名	Malayan Tapir
学名	<i>Tapirus indicus</i>
分類	奇蹄目 バク科
分布	ミャンマー南部からマレー半島、スマトラ島
生態	現存するバク 4 種のうち唯一アジアに生息しており、バクの仲間では最も体が大きいことで知られている。他のバクと違い、体の色が黒と白のツートンカラーになっているのが特徴。熱帯雨林の森の中で単独で生活しており、木の葉や草などを餌としている。水辺を好み、泳ぎも巧みである。生息地の破壊などで数が少なくなり、絶滅が心配されている。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧 IB 類 (EN) 近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
国内他園飼育頭数	12 園館 33 頭 (オス 21 頭、メス 12 頭) ※平成 30 年 12 月 22 日現在
当園飼育頭数	1 頭 (オス 1 頭) ※今回死亡した個体は含まず

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1 ※臨時開園あり
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000